

ソーラー架台 施工要領

株式会社 穂積トレイド

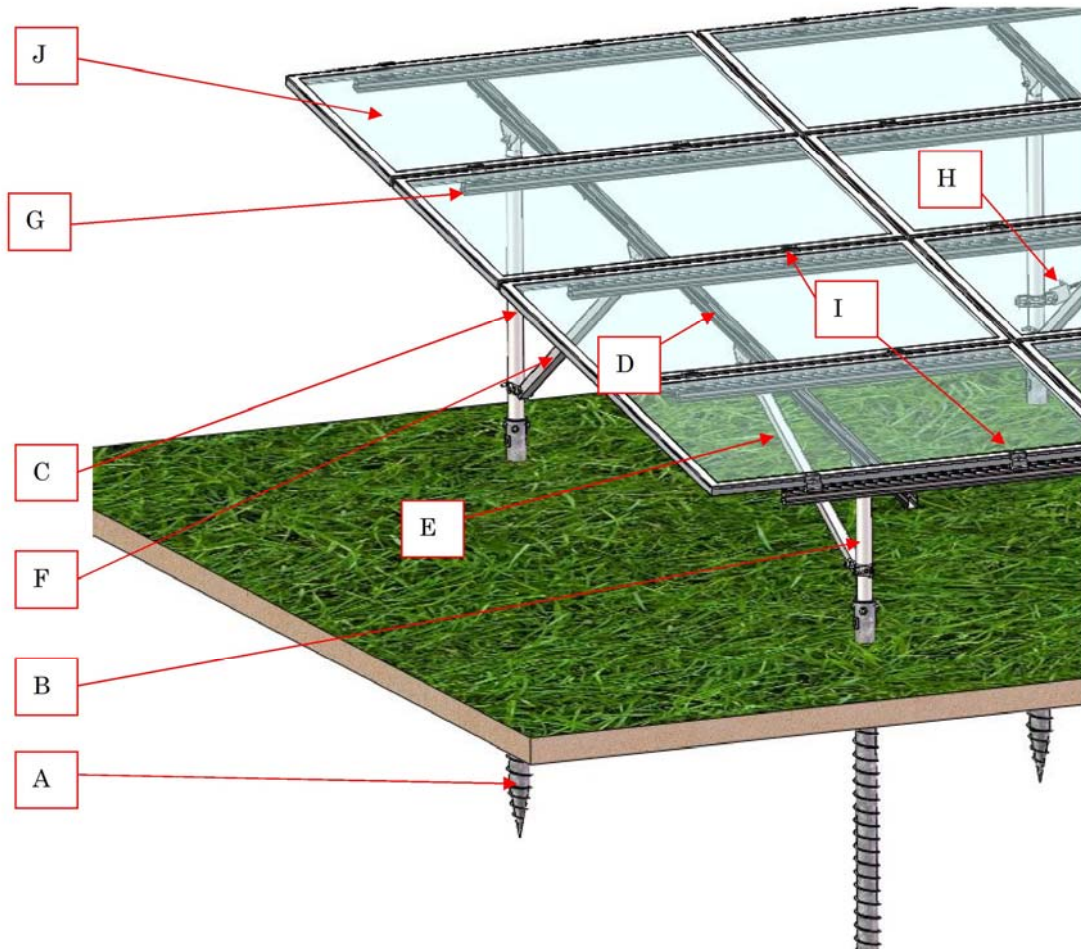
1. 架台の特長

- 作業効率化 — スクリュー杭の使用により、施工時間の短縮が可能
- 組立が簡単 — 架台底部とスクリュー杭を接続する方法で、分かりやすい構造で組立が簡単
- 高い強度と耐食性 — 架台は全て強度の高い鋼材を使用し、標準部品は溶解亜鉛メッキを採用、全てのアルミ製品は表面アノード酸化処理



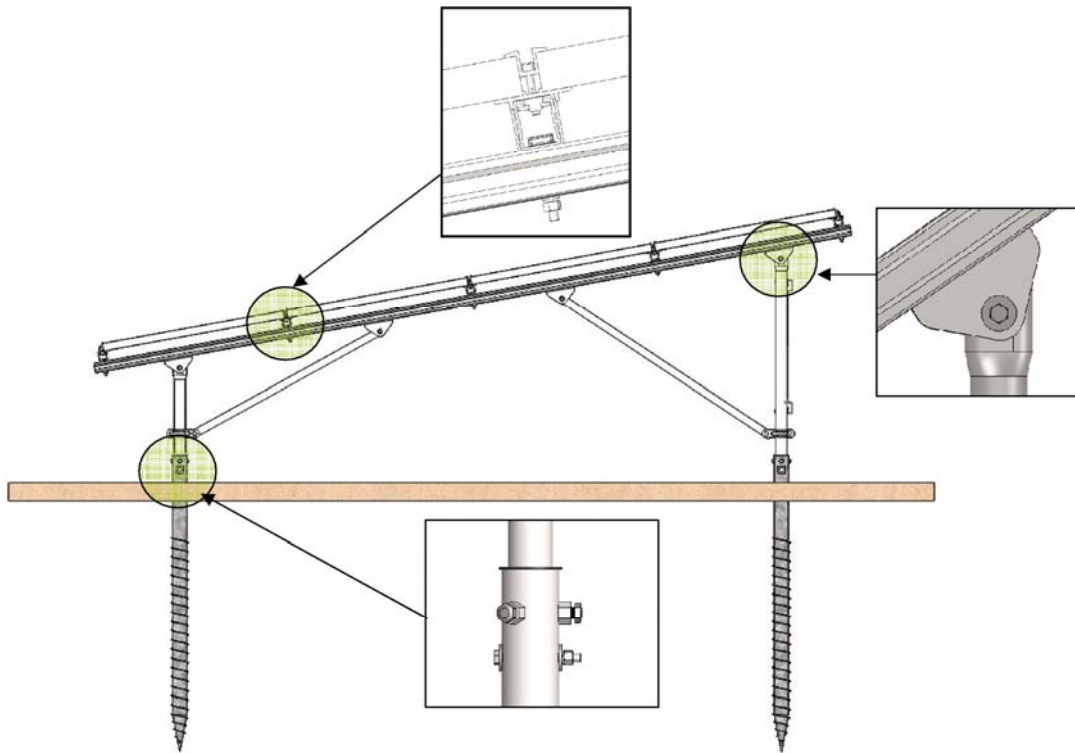
2. 構造説明

■全体図



- | | |
|------------|--------------|
| A—スクリューパイル | 全体のシステムを支持する |
| B—前支柱 | 主な支持架台となる |
| C—後支柱 | 主な支持架台となる |
| D—斜め梁 | 主な支持架台となる |
| E—斜め支柱 A | 主な支持架台となる |
| F—斜め支柱 B | 主な支持架台となる |
| G—横梁 | 主な支持架台となる |
| H—筋交 | 全体のシステムを強化する |
| I—押え金具 | パネルを固定する |
| J—パネル | 太陽光電池 |

■側面図



■背面図



3. 施工方法

① スクリュー杭の固定

スクリュー杭を設計図面に基づいて打ち込みます。

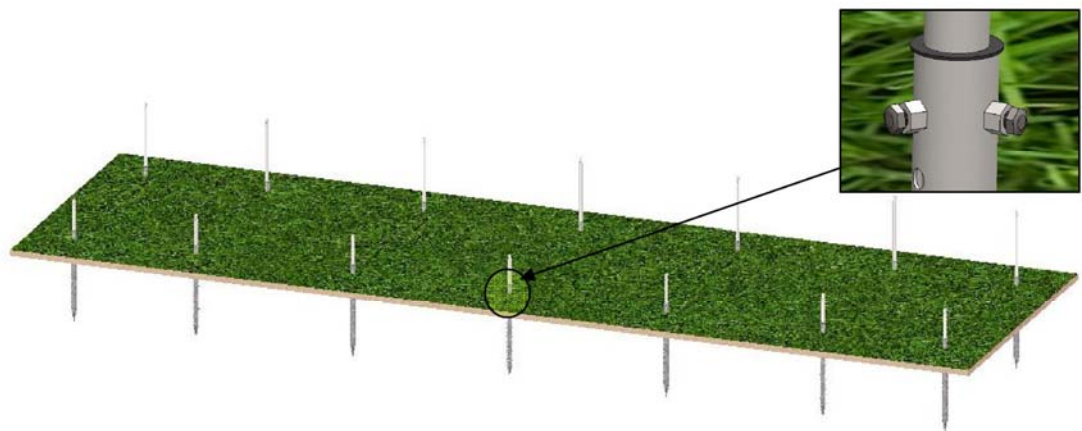
※あらかじめ施工場所の土壌と施工環境を調査しておくことが重要です。施工のスピードと品質に大きく影響します。



②前柱・後柱の固定

前柱を打ち込んだスクリー杭に挿入します。高さを調整して、3 個の M16*40 六角ボルトで締めます。

※架台・パネルは取り付け及び位置調整後、M12*110 ボルトでスクリー杭と柱材を固定します。

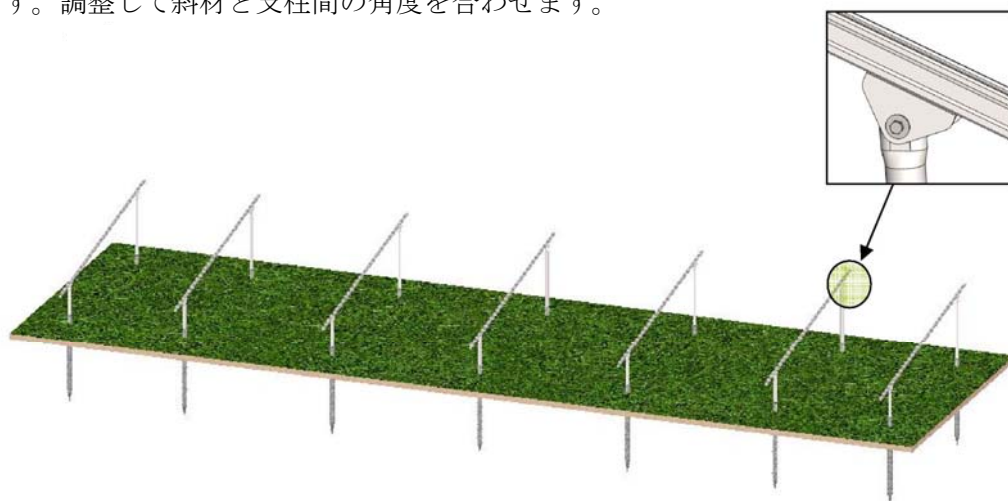


③斜材の固定

専用接続部品を前柱・後柱にセットして、M12*75 六角ボルトユニットで下図のように固定します。

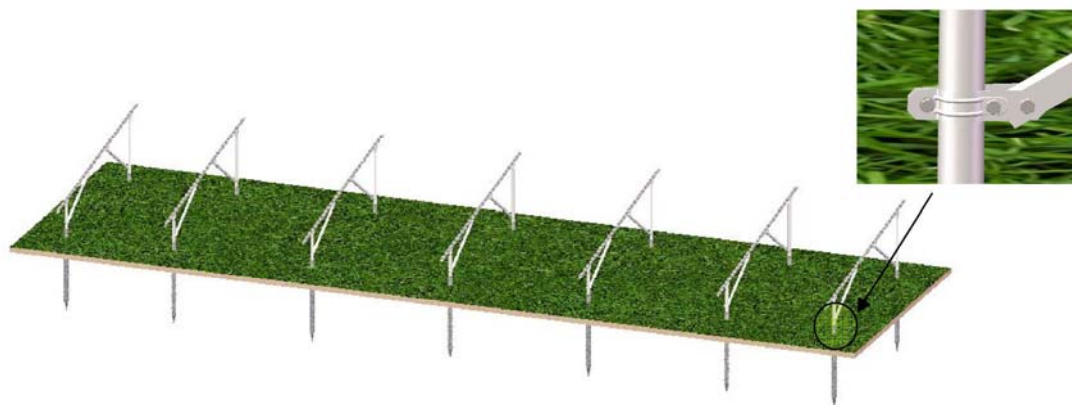


M10*30 六角ボルトユニット（ロックスペーサー含む）で専用接続部品と主材を接続します。調整して斜材と支柱間の角度を合わせます。



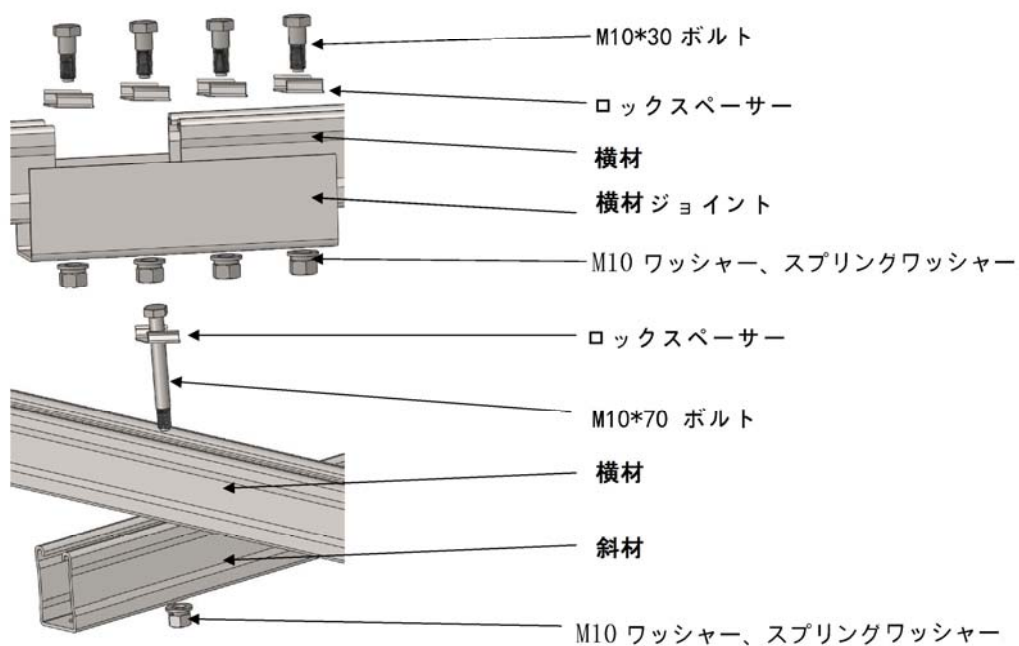
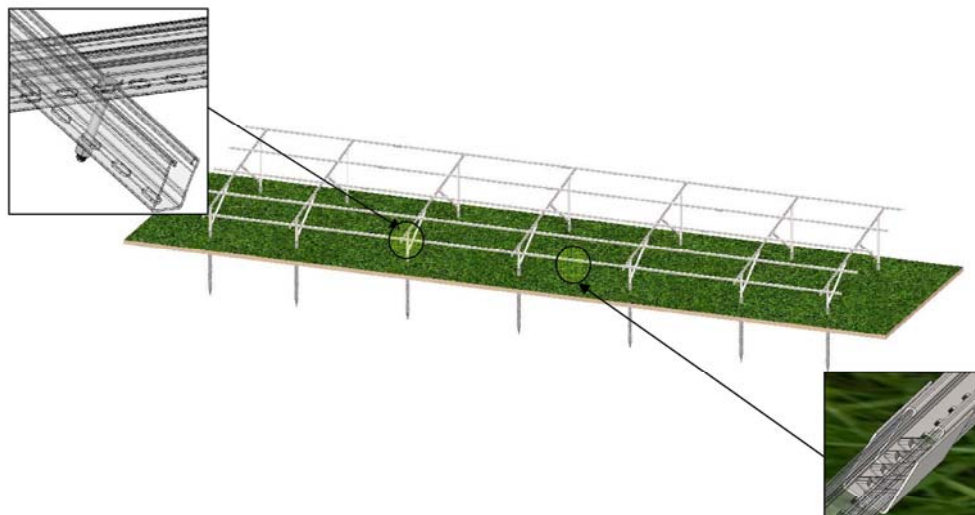
④斜め支柱の固定

斜め支柱端部の一方は M12*75 ボルト、他方は M10*65 と固定金具に接続します。



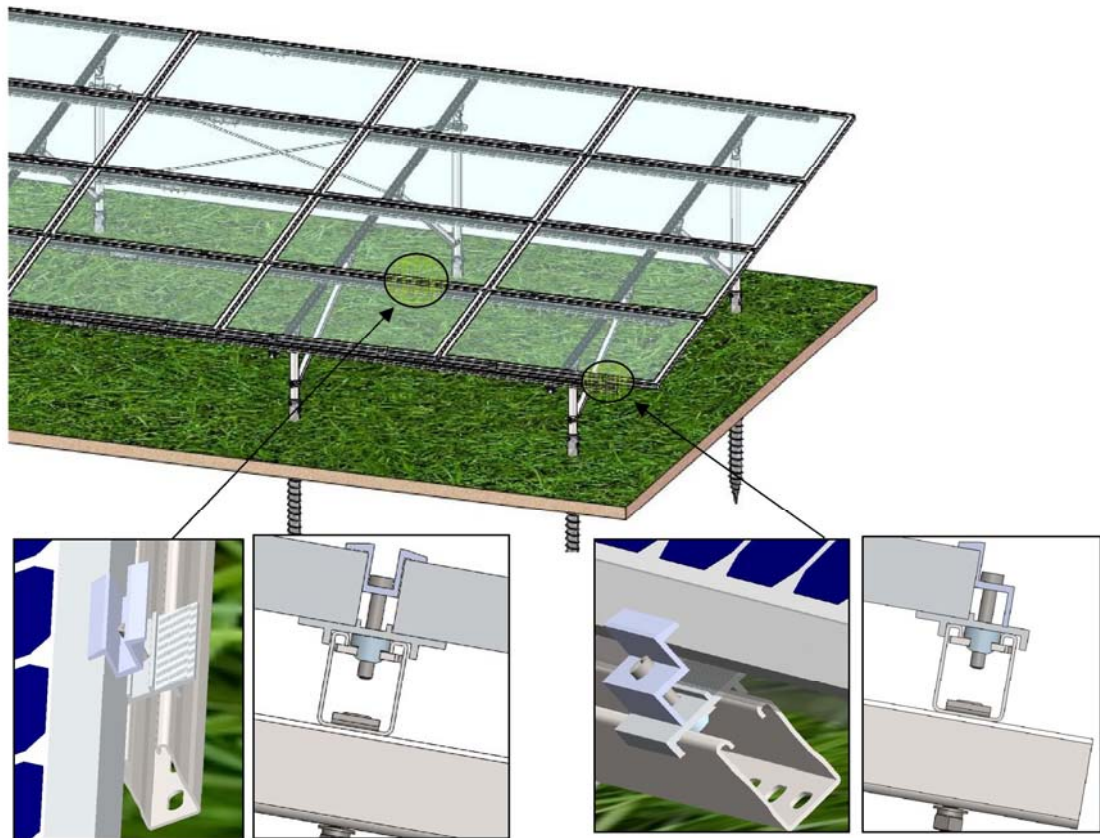
⑤横材の固定

横材を斜め支柱に固定して、パネル接続点に C 型鋼材金物で接続します。



⑥パネルの固定

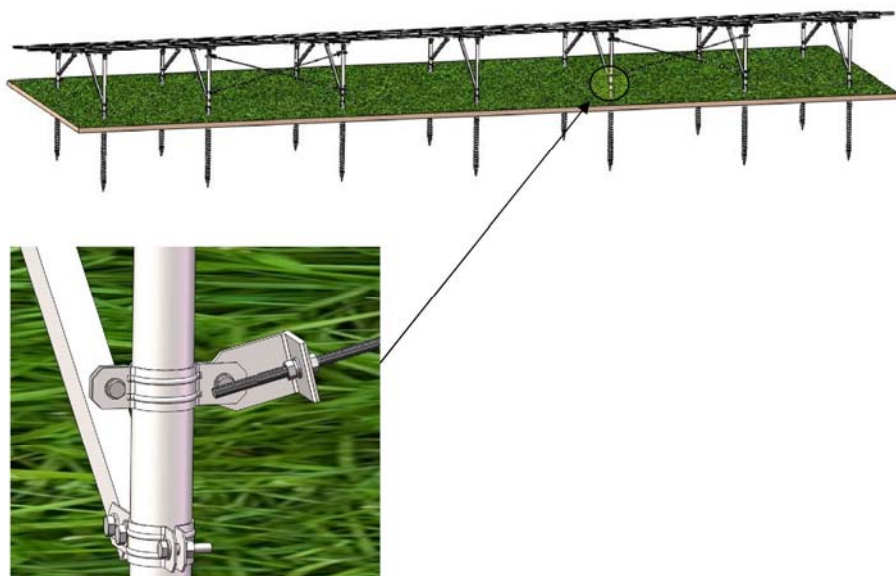
斜材固定時、押え受け金具をパネル端から 1/4 の所にセットして、パネルを C 型横材に平らに並べ、端部押え金具及び中間押え金具でパネルを固定します。下図をご参照ください。



中間押え金具


端部押え金具

⑦筋交の固定



4. 取付トルク説明

ボルト	設置位置	トルク	写真
M12× 110	前柱・後柱と スクリー杭接続	47 N・m	
M16× 40	前柱・後柱と スクリー杭接続	90 N・m	
M12× 75	前（後）支柱、前（後） 斜め支柱とヒンジ接続 部品接続	47 N・m	
M10× 30	斜材とヒンジ接続 部品接続 ・斜材接続	27 N・m	
M10× 70	横材と斜材接続	27 N・m	
M10× 65	斜め支柱接続	27 N・m	
M10x65	支柱と斜め支柱の接続	27 N・m	

M8×45	パネル押え受金具固定	10 N・m	
M12 Nut	テンションロッド固定	10 N・m	